

クアゼパム錠 15mg 「アメル」 クアゼパム錠 20mg 「アメル」

【この薬は？】

販売名	クアゼパム錠 15mg 「アメル」 QUAZEPAM Tablets 15mg「AMEL」	クアゼパム錠 20mg 「アメル」 QUAZEPAM Tablets 20mg「AMEL」
一般名	クアゼパム Quazepam	
含有量 (1錠中)	15mg	20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、睡眠障害改善剤で、ベンゾジアゼピン系と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳が興奮している状態をしずめ、寝つきをよくする働きがあります。
- ・次の病気の人に処方されます。

不眠症

- ・次の目的で処方されます。

麻薬前投与

〔不眠症に使用する場合〕

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にクアゼパム錠「アメル」に含まれる成分で、過敏な反応を経験したことがある人
- ・急性閉塞隅角緑内障のある人
- ・重症筋無力症のある人
- ・睡眠時無呼吸症候群の人
- ・リトナビルを使用している人

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・肺性心（肺の疾患に基づく心臓の病気）、肺気腫、気管支喘息、脳血管障害の急性期などのため、呼吸機能が高度に低下している人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・衰弱している人
- ・高齢の人
- ・心臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
- ・脳に器質的な障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・小児など

○この薬には併用してはいけない薬[リトナビル（ノービア）]や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。また、食事の後にこの薬を飲むと、この薬の効果が強くなることがありますので、食事の後にこの薬を飲むことは避けてください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[不眠症の場合]

販売名	クアゼパム錠 15mg 「アメル」	クアゼパム錠 20mg 「アメル」
一回量	クアゼパムとして1回 20mg	
飲む回数	1日1回就寝前	

- ・1日の最高量は30mgまでです。
- ・この薬は、寝るしたくをすませてから就寝の直前に飲むようにしてください。
- ・この薬を飲んだ後、いったん寝て短時間の後にまた起きて仕事などをする必要があるときは、飲まないでください。

[麻酔前投与の場合]

販売名	クアゼパム錠 15mg 「アメル」	クアゼパム錠 20mg 「アメル」
一回量	クアゼパムとして 1 回 15～30mg	
飲む回数	1 日 1 回就寝前（手術前夜）	

・1日の最高量は30mg までです。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

・異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・食後にこの薬を飲むと、薬の吸収が良くなり、過度の鎮静や呼吸抑制を起こすおそれがあります。食後の服用は避けてください。
- ・この薬の影響が次の朝以後におよび、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転等危険を伴う機械の操作をしないでください。
- ・この薬は反応に個人差があるため、少量から使用を始めます。やむを得ず増量する場合は観察を十分しながら慎重に増量します。ただし、30mg を超えないこととし、症状が改善したら減量します。増量または減量する場合は、医師の指示に従ってください。
- ・この薬を続けて飲んでいくと、薬をたくさん飲みたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、けいれん発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想などの離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。この薬の飲む量や飲む期間については医師の指示に従ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳は避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

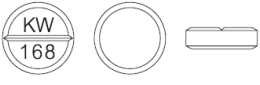

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす
刺激興奮 しげきこうふん	意識が乱れる、正常な思考ができない
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
炭酸ガスナルコーシス たんさんガスナルコーシス	からだがだるい、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、耳鳴り、胸がドキドキする、息苦しい、息切れ、判断力の低下
精神症状 (幻覚、妄想等) せいしんしょうじょう (げんかく、もうそうなど)	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下
思考異常 しこういじょう	考えがまとまらない
勃起障害 ぼつきしょうがい	性行為が可能なように陰茎が勃起しない、勃起障害
興奮 こうふん	興奮しやすい
運動失調 うんどうしつちょう	手足の運動がうまくできない
運動機能低下 うんどうきのうていか	運動ができなくなる
協調異常 きょうちょういじょう	思っているとおりに動かない、複雑な運動ができない
言語障害 げんごしょうがい	しゃべりにくい
振戦 しんせん	手が震える、足が震える
一過性前向性健忘 いっかせいぜんこうせいけ んぼう	一時的に記憶がなくなる
もうろう状態 もうろうじょうたい	もうろう感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、手足の運動がうまくできない、運動ができなくなる、もうろう感
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛、一時的に記憶がなくなる
耳	耳鳴り
口や喉	しゃべりにくい
胸部	息苦しい、息切れ、胸がドキドキする
手・足	手が震える、足が震える
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす、正常な思考ができない、判断力の低下、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する、性行為が可能なように陰茎が勃起しない、勃起障害、興奮しやすい、思っているとおりに動かない、複雑な運動ができない

【この薬の形は？】

販売名	クアゼパム錠 15mg 「アメル」	クアゼパム錠 20mg 「アメル」
形状	割線入り素錠 	割線入り素錠 
直径	7.0mm	7.5mm
厚さ	2.4mm	2.8mm
重さ	120.0mg	160.0mg
色	微黄赤色	淡黄赤色
識別コード	KW168	KW169

【この薬に含まれているのは？】

販売名	クアゼパム錠 15mg 「アメル」	クアゼパム錠 20mg 「アメル」
有効成分	クアゼパム	
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒプロメロース、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共和薬品工業株式会社

(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）